

財団概要

名	称	公益財団法人あいである
住	所	〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル3階
設立登記		2015年4月1日
公益財団法人認定		2017年4月1日
事業内容		(1)社会的養護施設出身者への自立支援に資する事業 (2)社会的養護児童への自立支援に資する事業 (3)社会的養護の認知拡大に資する事業 (4)その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
役員	員 (役職別五十音順)	諮詢委員 (五十音順)
	代表理事 木皿 昌司	坂本 博之
	理事 笠作 真一郎	こころの青空基金代表、内閣府「子供の未来応援国民運動」発起人
	理事 下田 隆二	
	理事 中村 安志	
	理事 三浦 保	
	理事 吉田 健子	
	理事 吉田 義夫	
	理事 渡辺 修三	
	監事 相楽 行孝	
評議員	員 (五十音順)	
	評議員 飯塚 良成	山田 勝美
	評議員 太田 一平	山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授
	評議員 安岡 利朗	
	評議員 若杉 千秋	

Contact

TEL.03-6435-0444

info@idealideal.org

<https://idealideal.org/>



児童養護施設など社会的養護のもとで暮らす子ども、
そこから自立を始めた子どもを支援しています。



ごあいさつ

少子化の日本において、何らかの理由により家庭での養育が不適切、社会的に養護が必要とされ児童養護施設に暮らす子どもが30,000人(平成26年10月厚生労働省家庭福祉課調べ)を超え、その数は増加しています。

社会的養護児童は専門的知識を有する職員の下で養育されていますが、心身のケアには深い愛情と専門的なケアが必要となる例が多く、国や行政からの措置費加算、配置職員数の改善など、施設における子どもも待遇は従前に比べ手厚くなっています。

一方で、18歳で児童養護施設を退所する子どもは、社会で自活を始めることがへの準備が整わない、法律的、金銭的にも乏しい後ろ盾の中、18歳という年齢に達したというだけで自活をしなければならないのです。^{*注}

公益財団法人あいであるは、社会的養護児童の自立支援、社会的養護出身者の退所後の支援事業を通して、「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でない」とされた子どもの健全育成支援を行っています。

～社会的養護とは～

保護者のない児童、家庭環境上養護を必要とする子どもは、社会的責任として乳幼院や児童養護施設で養育されます。

*大学に通うなどの理由により、20歳まで施設で暮らす措置延長が認められます。

支援内容

実家便



施設の先生方々から届いたお手紙

児童養護施設退所者の見守り支援「実家便™」

施設と退所者をつなぐ架け橋として年2回、5年を限度として施設に代わって生活用品を送ります。

18歳で児童養護施設を退所して自活を始める子どもにとって、自分が暮らした施設は実家であり、セーフネットもあります。



2回目以降は食品が中心です。



初回の発送は、災害への備えが中心です。

あいであるの マネークリップ

お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」

社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について学ぶためのレクチャーを行っています。

カード形式のゲームで、取り組みやすい内容です。



寄付のお願い | 当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営されています。当財団の活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力をお願い致します。



読み終えた本などの
**リサイクル品で
募金ができます**

リサイクル募金

皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額を、あいであるに寄付していただく取組みです。寄付金は児童養護施設など社会的養護のもとで暮らす子ども、そこから自立を始めた子どもを支援するために役立てられます。

— 皆様のご参加をお待ちしております。

あいである リサイクル募金
0120-29-7000 (9時~18時)

申込受付から査定・報告、および送金は「リサイクル募金きしゃばん」(運営:嵯峨野株式会社)が担当します。リサイクル募金1回のご参加につき、きしゃばんからも100円が寄付されます。

振込みによる寄付

○1,000円から承ります。

寄付金申込書に必要事項をご記載の上、E-Mail又はFAXにてお送りください。

○賛助会員として当財団を支えてくださる法人・個人を募集しています。

法人 50,000円/年 個人 10,000円/年

<http://idealideal.org/donation/>

寄付の申込書及び振込先のご案内はこちらから!

